

みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる

2013

9

2013年8月25日発行
通巻 177号



P1-2 熱中手帖。

-これまで×これから- Vol.15

紀宝町災害ボランティアセンター (当時)

紀宝町鮎田区長 東口 高士

紀宝町災害ボランティアコーディネーター 久原 章作・小山 益生

(福) 紀宝町社会福祉協議会 事務局次長兼鶴殿事業所長 鈴木 生子

P3-4 三重ぐるり～みえの市民活動～

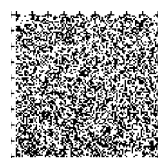
今月のテーマ：防災・地域安全に関わる団体

P5 募集とご案内、助成金情報

P6 クローズアップ協創のヒント集、活動のぞき見隊

P7 マイNPO物語、NPO・ボランティア私の一冊 ほか

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



熱中手帖。

—これまで×これから— vol.15

いざというときに地域の人
がどれだけ結集できるか議会

紀宝町災害ボランティアセンター（当時）

紀宝町鮎田区長 **東口 高士**（左）
紀宝町災害ボランティアコーディネーター
久原 章作（中央）・**小山 益生**（右）

社会福祉法人紀宝町社会福祉協議会
事務局次長兼鵜殿事業所長

鈴木 生子

被災翌日に立ち上げ

周辺の状況と災害ボランティアセンター設置の経緯について

平成 23（2011）年 8 月末から降り続いた台風 12 号の雨は、紀伊半島を中心に記録的な大雨となり、9 月 3 日夕方には熊野川の支流である相野谷川が氾濫するなど、紀宝町全世帯の 2 割が被災する事態に至ったのです。9 月 4 日未明に自衛隊に災害派遣要請が行われ、同日夕方には災害救助法が適用、その翌日に紀宝町役場より災害ボランティアセンター（以下「災害ボラセン」と略）設置依頼があったのを受けて、災害ボラセンを設置することになりました。

並行して町内ボランティア募集を始め、ホームページやブログの立ち上げなど、矢継ぎ早に必要なことを進めました。

土のう袋やスコップ、デッキブラシ、一輪車等の資機材も NPO 法人レスキューストックヤード（名古屋）、岩手県大槌町、関係機関等から送っていただきました。本部スタッフとして行政の災害対策本部との連絡や被災状況の把握・マッチングの調整や予算措置、マスコミ対応等、基本は紀宝町社協が担い、軽トラックも最終的に 9 台までリースし、三重県共同募金会からは携帯電話 7 台を借りました。近隣ホテルから布団や畳の寄贈を受けたほか、みかん農家から大型ポリタンクをお借りし軽トラに乗せ高圧洗浄機で泥水に浸水した家屋を清掃するなど、広範囲にさまざまな支援・協力を得ることができました。

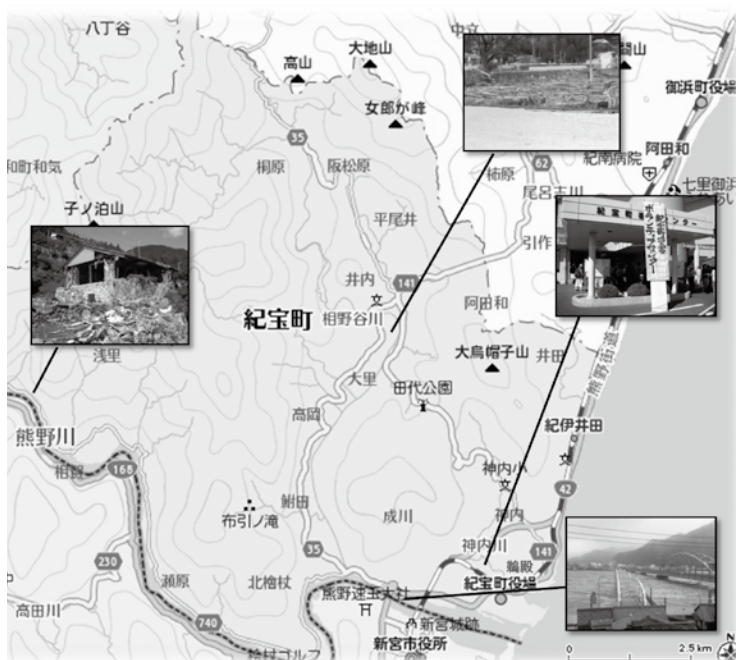
今回、災害ボラセンの立ち上げや運営面、活動面な

ど地元の災害ボランティアコーディネーターの方々に率先して活動していただき、町内外から駆け付けてくださった救援ボランティアのみなさんへさまざまな場面で素早い対応ができたことは、復旧・復興へ心強い原動力でした。【鈴木】

*1 マッチング：災害時に被災者からのニーズ（需要）と災害救援ボランティア（供給）とのマッチング（仲介・コーディネート）が重要になる。

*2 災害ボランティアコーディネーター：平成 20 年度、22 年度に紀宝町社会福祉協議会が住民を対象に計 46 名養成した。被災された方も多く、結果的に 18 名の方が自発的に参加いただく。

〈紀宝町内地図〉



出典：平成 23 年 9 月 4 日 台風 12 号災害
紀宝町災害ボランティアセンター記録報告書

養成講座卒業生のがんばりと陰の支援

初期の経過と対応に苦慮された点は？

災害ボラセンの立ち上げについては、災害ボランティアコーディネーター養成講座で学び、何回か立ち上げ訓練もやっていたので、スムーズにできました。

初期の段階では被災者からのニーズもなかなか出てこないと予想し、主要五大紙と地元紙に「助けてほしい方はこちらへ連絡を」といったチラシを入れ、さらに避難所を回るなどニーズ把握を心がけました。

地上5メートルくらいまで浸水したので、有線電話も携帯電話の基地局も浸かったため、1カ月くらい電話が通じなかったのが困りました。通常の連絡ができなかったので、明日は100～200人くらいボランティアが来てくれるかなと思ったら、その7割くらいのニーズ(仕事)をつくり事前にバイクでまわって、マッチングすると同時に新しいニーズをつくるという日々でした。

20日くらい経過し、ある程度落ち着いた頃、住宅地図をつなぎ合わせて浸水したラインやニーズの依頼状況を書き入れ、その地図を持ってニーズの掘り起こしに回りました。

ボラセン内部での情報共有は毎日、早朝と終了時にミーティングをして、お互い遠慮せずにモノを言っていました。養成講座の講師さんには陰で支援いただくなど、外部の人にも助けられました。

また、^{ふなだ}鮎田区など土石流のあったところには、ボランティアが入ろうにも入れない状況になっておりましたが、“ひのきしん^{*3}隊”が重機を持ち込み、チェーンソーを持って何度も入って、流木を^き伐ったり、泥を片づけたり、見る見るうちに片づけてくれて、その後、一般のボランティアに入ってもらえることができました。

私(東口)自身被災しましたが、自宅は親戚の者に任せて、地域への目配り・調整に取り組み、大勢のボランティアの受け入れ態勢を整えたおかげで、スムーズにいきました。【久原、小山、東口】

*3 ひのきしん隊：天理教災害救援ひのきしん隊が正式名称。地震や豪雨といった自然災害に見舞われた被災地に駆けつけ、救援活動に取り組んでいる。

平常時の交流の大切さ

今回のことを振り返って

ゴミの置き場から道路のこと、あるいはボランティアが道具を持って行ったとか壊したとか、苦情はすべて地元のコーディネーターで受けようとみんなを確認し、対応しました。社協職員では対応に窮することがあるけれど、僕らが行って「お前、どの者な」って言われても「僕らはボランティアでコーディネーターしてます」って言うと、反応が違う。

難しいのは、どの時点で災害ボラセンを撤収するかという点、住民の甘えも見極めて、どう自立を促すかということですね。

今回の経験から思ったのは、いざというときに地域の人がどれだけ結集できるか。だから繰り返し繰り返し、同じことでも防災訓練を年1回か2回やるし、われわれもコーディネーターとして飽きるくらいボラセンの設置訓練をして、試行錯誤してきました。世代が代わっても誰でもその場所でリーダーになれるような気持ちを持ってもらおうと思って活動をやってきたのです。

紀宝町はイベントが多いと言う人もおるけど、町内のいろいろな人が集まって交流があることにより、普段接することのないような人とも会ったり話す機会も生まれる。普段からの交流(つきあい)があってはじめて、顔の見える関係、無理の言える関係になります。【久原、小山、東口】



DATA

紀宝町災害ボランティアセンター(2011年9月被災時)

事務局住所	〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 1074-1 (福)紀宝町社会福祉協議会 鵜殿事業所内	ブ ロ グ	http://blog.livedoor.jp/kiho_shakyo/archives/1535527.html
T e l	0735-32-0957(紀宝町社会福祉協議会の電話)	代 表 者	本部長 濱田 武利
ホームページ	http://kiho-shakyo.or.jp/	ボラセン設置	2011年9月5日(月)～2011年10月16日(日)



三重県内で魅力ある活動を行っている市民活動・ボランティア団体等を県内各地域の市民活動（支援）センター等の協力を得て、ご紹介します。

9月1日は防災の日。地震や津波などの災害や交通事故や犯罪などの危険から、地域とそこに暮らす人々を守る活動をしている団体は・・・？

今月のテーマ

防災・地域安全に関わる団体

北勢
地域

防災ネットとういん

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

防災・災害に関する専門的な資格をもった人々のグループです。平時には防災・減災の取り組みを自治会など地域のいろいろな各種団体への普及啓発を行い、有事には災害ボランティアセンターの運営と災害復興の支援を行うことを目的としています。

これまでに、障害者団体へ災害時の要支援のあり方講座や、地域の防災訓練の支援、自主防役員会のスキルアップ講座を行ってきました。また、老人会への出前講座や、社会福祉協議会と協働で東員町災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成を行い、災害ボランティアの育成講座も行いました。

防災・減災講座の様子です



ひとことPR! 災害のとき、不幸にして亡くなることをできるだけ少なくするための術を、伝えていきたいと思います。

✉ khirosi@intsurf.ne.jp

北勢
地域

四日市市港地区自主防災組織連絡協議会

情報提供：四日市市なやプラザ

私たちの港地区は、明治時代に稲葉三右衛門さんが開墾した四日市旧港をその地内に抱えるまちとして知られています。しかしながら、その大部分は埋立地で、軟弱な地盤は地震に弱く、また、長い海岸線は津波に弱く、この海岸線には民家と隣接した石油コンビナートがあります。また、古くからのまちであるだけに高齢化と過疎化の進行も著しく、このため伝統的に、“福祉と防災が一体化したまちづくり”を標榜し、諸活動に取り組んできました。現在、当協議会は、港地区に立地する多くの企業にも参画いただき、住民、企業、行政が一体化したかたちで地域防災力の向上を目指しております。

平成25年度避難所運営訓練（HUG方式での図上訓練）の様子



ひとことPR! 高齢化と過疎化の激しい進行に負けることなく、平成22年9月に三重県で初めての「防災功労者防災担当大臣表彰（団体の部）」を受賞しました。

四日市市蔵町4-17 四日市市なやプラザ内
☎ 059-354-0147（会長 奥村 吉孝）

北勢
地域

災害ボランティアアマチュア無線鈴鹿

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

「災害ボランティアアマチュア無線鈴鹿」は、平素、無線通信が趣味の人の集まりです。今後、鈴鹿市においても、南海トラフ地震が発生した場合、大きな災害が発生し、情報収集に支障をきたす恐れがあります。大災害が発生したときには、メンバーが無線を使用して、市民目線で周辺の状況を市役所のアマチュア無線装置へ送り、災害対策本部へ情報提供する「災害応援協定」を締結しています。現在会員は50名で「毎月の交信訓練」や「会員全体会」を開いています。そして、今後必ず来る大災害に対し「即応体制」と「長期化」に備えています。



防災訓練実施時の様子

ひとことPR! 会の合い言葉：「グラッと来たら、すぐ連絡を取り合うこと」「外出時、財布忘れてもトランシーバーを忘れるな」

☎ 059-382-0034（山中）

伊賀
地域

特定非営利活動法人 こどもの安全を守る会コアラ

情報提供：特定非営利活動法人 なばり NPO センター

コアラは、有袋動物でカンガルーの仲間です。子どもをお腹の袋の中で育てることから、コアラをイメージして命名しました。文字通り、子どもたちを社会悪、交通事故、危険な環境から守ることを目指して活動する団体です。主な活動は、つつじが丘小学校での登下校支援、交通安全教室開催、毎日実施の青色回転灯装着車での地域パトロール、月2回の夜間パトロール等。結成してから13年、名張警察・つつじが丘交番・地域と連携しながら、子どもたちの安全のために毎日活動を継続しています。



交通安全教室の様子

ひとことPR! 「犯罪は一日も待ってられない。」を合言葉に毎日活動しています！

☎ 0595-68-0284
（こどもの安全を守る会コアラ 田鍋）

中勢 地域

災害ボランティア アマチュア無線 津

情報提供：津市民活動センター

東日本大震災のような大規模災害が起こった際に、電話、携帯による通常の情報伝達が全くできなくなります。私たちは、このような事態が生じたとき、手持ちの無線機を使用して被害状況などの情報を伝達する目的で、平成 20 年に市内のアマチュア無線家有志により結成されました。

平成 24 年 3 月には津市との間で協定書を交わし協力関係を密にしています。市庁舎屋上にアンテナを設置し、実際に災害が生じた際はこの設備を使用して情報収集を行えるよう準備を整えています。また、津市が秋に行う津市総合防災訓練に毎回参加し情報伝達訓練の実際を披露しています。



平成 23 年津市総合防災訓練

ひとこと PR! 旧美杉村在住の会員を募集しています(ただし、現在アマチュア無線局を開設している人に限ります)。

☎ 059-226-0628 (代表宅)
✉ ja2ah@zvtv.ne.jp

南勢 地域

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議

情報提供：いせ市民活動センター

三重県全域を活動範囲として、平常時は防災啓発や防災ボランティアの養成、防災ボランティアコーディネーターの育成や県内外の関係機関や個人の連携を行っています。

一方、災害時には三重県や三重県社協らと協働でみえ災害ボランティア支援センターを設置したり、伊賀市、伊賀市社協と伊賀市災害ボランティアセンターを運営して、災害ボランティア活動が円滑に、安全に、そして活発に行われるよう、支援活動を行います。



大分県竹田市での災害ボランティア活動の様子

ひとこと PR! 災害が起きたとき、全てのひとにできることがあります。自分にできることを日頃から考えておきませんか？

✉ webmaster@v-bosaimie.jp

東紀州 地域

みえ防災コーディネーターおわせ

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

尾鷲市に在住する、みえ防災コーディネーターの認定者で結成した任意団体です。主な活動は、地域防災力の向上と、県や市町の要請による防災訓練や啓発事業への会員派遣の調整・支援を行っています。また、災害発生時には、公的な組織などに協力して、復旧・復興活動を支援することも目的としています。現在は、防災訓練や啓発運動に協力する活動を行っています。大きな課題としては、想定されている南海トラフによる地震と津波が来るまでに、いかに防災・減災について人々に知っていただくかということ、日々考えながら活動しています。



避難所体験訓練の様子

ひとこと PR! 平成 25 年度は、尾鷲市内の自主防災組織と連携して、避難所運営に関する勉強会を予定しています。

☎ 0597-23-8118
(尾鷲市防災危機管理室内)

中勢 地域

防災宅急便!もしも・・・まつさか

情報提供：松阪市民活動センター

地域における防災意識の啓発に取り組むボランティア団体です。主な活動は、松阪市内を中心に子ども向けの防災紙芝居、自治体向けの防災出前講座、企業向けの研修など。地域で防災活動を行う団体「防災ネットワーク」に、松阪市から「子どもたちを対象とした防災活動」へ協力要請があったことをきっかけに、平成 21 年に設立しました。50～70 代のメンバーが、市内の幼稚園や小学校へ出向き、オリジナル紙芝居で防災についてやさしく伝えたり、近年力を入れている自治体向けの講座では、地区代表者向けの防災講座、避難所での炊き出し体験など幅広いプログラムがあります。

防災紙芝居の様子



ひとこと PR! 地震や防災について、知りたいことがあれば、どこへでも伺います。”防災”と気構えずに気軽に声をかけてください。

☎ 090-1279-5745(中村)

南勢 地域

「防災」が、つむぐ志摩市の仲間たち

情報提供：志摩市民活動通信 sanpo

志摩ではいろんな活動や立場の方々、「防災」を通じてより深くつながり始めています。

環境活動の「こうぼうむぎ」さんの街歩き、郷土料理の「いそぶえ会」さんの防災料理教室、子育て支援の「いちごの会」さんや「しま子育て応援団」さんの防災教室や避難所宿泊体験、市民福祉の「松ぼっくり」さんの親子家具固定教室等々。

「社会福祉協議会」さんのコーディネート力と「みえ防災コーディネーター志摩の会」さんの専門性が掛け算になって、「自治会」や「老人会」さんたちとともに、地域を、市民を少しずつ、つむぎ始めています。



テレビを固定しているところ

ひとこと PR! 『「防災」団体だけでは何もできない。ともに学び活動するための「大切なテーマ」だと思う』取材メモより

<http://shima-fukushikyo.or.jp/>
(社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会)

来月のテーマは

スポーツの振興に関わる団体

です。



募集とご案内

笑いと癒しの市民公開セミナー（第3回） 「自分をよく知り、コミュニケーション能力を高めよう！」

鈴鹿医療科学大学「臨床心理コース」の企画による連続公開セミナーです。今回は、臨床心理士であり、本コースの教員でもある中地展生氏と中川一郎氏が「交流分析」などを用いて、楽しみながら自己理解を深め、コミュニケーション能力を高めるコツを伝えます。

日 時 9月1日（日）13:00～16:00

場 所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー
アスト津3階（津駅東口隣接ビル）

対 象 一般の方、対人援助職の方、心の健康に関心のある方

募集人数 30名 ※参加費無料

応募方法 TelまたはFaxで申込み（余席がある場合は当日参加も可）

問合せ先 鈴鹿医療科学大学 庶務課

Tel 059-383-8991 Fax 059-383-9666

鈴鹿の歴史・再発見講座（第1回） 「鈴鹿の歴史、それぞれの輝き」

私たちが住んでいる鈴鹿市、実は古代から歴史の表舞台に登場する場所なのです。時間の層に埋もれがちな鈴鹿の歴史を再発見します。

講 師 福島 礼子さん ケーブルネット鈴鹿ディレクター、エッセイスト

日 時 9月14日（土）10:00～11:30

場 所 鈴鹿市文化会館 さつきプラザ（鈴鹿市飯野寺家町810）

対 象 どなたでも **参加費** 無料 ※要申込み

応募締切 9月10日（火）

問合せ先 すずか生涯学習インストラクターの会

Tel 090-8864-0211（一尾） Fax 059-386-6744

✉ tka-ichi@mecha.ne.jp

HP <http://genki365.net/gnks02/pub/index.php>

※（第2回）「鈴鹿の戦中・戦後」 1月25日（土）10:00～11:30

脱原発四日市パレード 「さよなら原発。今きっぱりと！」

原発ってほとんど動いてないし、あんな危険なものもういないんじゃない？と思っている人、ぜひ、参加してください。15時から原発問題の深刻さを訴えるリレートーク、16時頃から四日市の街をパレードします。

日 時 9月15日（日）15:00～17:30 ※雨天決行

場 所 市民広場（アピタ前噴水広場）近鉄四日市駅から西へ徒歩5分

対 象 どなたでも ※参加費無料

問合せ先 脱原発四日市市民の集い Tel 059-377-2698（熊沢）

第51回 日本笑い学会 三重支部笑例会

1. 「日本笑い学会」誕生の頃～「笑い学」って何？

井上 宏 先生 日本笑い学会 初代会長、関西大学名誉教授

2. 笑いと私 ～外科医からお笑い医者へ～

淵田 科 先生 日本笑い学会 三重支部長、山中胃腸科病院理事長

3. 笑いヨガ

笑いヨガチーム 日本笑い学会 三重支部

日 時 9月21日（土）14:00～16:30

場 所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー

対 象 どなたでも **参加費** 800円（会員無料）※申込み不要

問合せ先 日本笑い学会 三重支部

Tel & Fax 059-232-6409（中村）

✉ waraigakkaimie@gmail.com

五日市 剛さん 講演会 in 津 ～ツキを呼ぶ魔法の言葉～

「運命が変わる 未来を変える」

日 時 9月28日（土）13:30～16:30

場 所 三重県総合文化センター 多目的ホール
（フレンテみえ1階 Tel 0120-319489）

参加費 前売 2,000円、当日 2,500円（税込）

主 催 みんなが笑顔で暮らせるコミュニティ
スマイルファクトリー

五日市 剛さん講演会実行委員会

Fax 059-223-7551

問合せ先 Tel 090-3254-1796（濱地）

✉ info@smilefactory-mie.net

初心者向けドイツ語教室開催 ～みなさん一緒にドイツ語を学んでみませんか～

ドイツへ旅行してみたい、ドイツ人と知り合いになりたい、自由な時間ができたという方、なごやかな雰囲気の中で楽しくドイツ語入門～初級、会話と文法を学びます。

講 師 三重大学のドイツ人留学生

日 時 10月11日～12月20日（11月1日を除く）

毎金曜日 18:45～20:30

場 所 アストプラザ（アスト津5階）研修室B・C

対 象 ドイツ語が初めての方から初級程度の方

参加費 12,000円（日独協会会員の方は10,000円）

応募締切 9月27日（金）

問合せ先 三重日独協会 Tel & Fax 059-232-0594（向井）

助成金情報

助成金情報は、弊センターホームページでも多数ご紹介しております。

HP <http://www.mienpo.net/center/>

- ・JTB交流文化賞（分野：観光、まちづくり） 9月24日（火）当日消印有効
- ・「こころを育む総合フォーラム」子どもたちの「こころを育む活動」募集 9月30日（月）17:00 必着
- ・生活協同組合コープみえ 2013年度 寄付先団体募集（分野：環境） 9月30日（月）必着
- ・日本万国博覧会記念機構 平成26年度助成事業募集（分野：国際、文化・芸術） 9月30日（月）当日消印有効
- ・正力厚生会 2014年度がん患者団体助成 10月7日（月）必着

クローズアップ

協創のヒント集

県民が力を合わせることによって、地域社会で「今までできなかったことができるようになる」ために大切なヒントを毎月ご紹介します。

ヒント3 退職者の活力を引き出す

【ヒント3】

高齢者は今後ますます増えていきますが、比較的時間に余裕があり、豊かな経験、人望、知識を持つ退職者は、「新しい公共」の重要な担い手です。ことに、戦後の新しい価値観の下で、新しい社会を築き上げた団塊の世代は、市民活動の質を変えとも言われています。

しかし、このような世代がなかなか地域に顔を見せないという問題があります。これは、退職後は趣味を楽しみたいとか、何か社会の役に立ちたいと思っていても、何をしたいのかわからない場合などが多いようです。これを乗り越えるには、一人ひとりの関心を活かしながら、社会貢献活動に足を踏み出すためのきっかけづくりが大切です。

【ヒント3の事例】

- ①退職者の社会貢献意欲を形にする「人材ポケット部会活動」(四日市市) **実施主体** 特定非営利活動法人市民社会研究所(NPO)
- ②生涯いきいき仲間とともに「ふれあいカレッジ」(津市) **実施主体** みえ長寿推進協力員津連絡会
- ③熟年パワーで花の名所づくり「朝熊山麓に花を咲かす会」(伊勢市) **実施主体** 朝熊山麓に花を咲かす会(NPO)
- ④一から立ち上げる「若手」が元気な高齢者クラブ」(桑名市) **実施主体** 藤が丘地区高齢者クラブ(地縁団体)

引用：『夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～』(三重県・新しい公共円卓会議／2013年3月発行)

活動のぞき見隊 Vol.3

NPOの活動、団体のサポートなどのNPOに関わりのある活動ってどんなことをしているのでしょうか？その活動現場で活躍するスタッフのある日の一日を紹介します。

今回は、おもに精神障がい当事者の方が利用する「スタジオピア」を津市の委託で運営する特定非営利活動法人 ピアサポートみえのスタッフの河合さんに密着しました。スタジオピアでは利用者の日中一時支援として昼食の提供、楽器の講習、バンド練習、スポーツなど多様なサポートプログラムを実施しています。利用者が仲間とともに支え合い、自分たちでつくる居場所です。

HP <http://www.zd.ztv.ne.jp/peersupport-mie/>

連絡先 059-213-9577 (ピアサポートみえ事務所)

特定非営利活動法人 ピアサポートみえ

スタッフ 河合 明日香さん

津市出身。子どものころから人の役に立つ仕事に憧れる。2011年4月からスタジオピアを利用して、重度訪問介護養成研修講座を受け、同年10月よりヘルパーとして利用者のサポートを行う。スタジオピアでの昼食づくりは昨年9月から担当。



11:00 昼食づくりスタート



10～15人分の昼食を手際よく作ります。献立は買い物をしながら考えます

スタッフ力作のボリューム満点カルボナーラ、エビとアボカドの玉子サラダ、ベーコンとかぼちゃのスープ

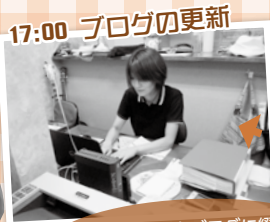


12:00 利用者と一緒に昼食

スポーツ講習などの外に出るプログラムが無い日は、利用者と楽しくおしゃべりします



15:00 利用者とおしゃべり



17:00 ブログの更新
今日の出来事をブログに綴ったり、事務作業をしたりします

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	18:00
出動、スタジオピアの清掃、ゴミ出しなど	スタジオピアの対応、メール・電話の対応	調理準備	昼食の食材の買い出し、調理開始	昼食の必要人数最終確認	利用者と一緒に昼食	片づけ、午後のプログラムの準備	掃除など	利用者とお茶、ブログ更新など
							事務作業、退勤	

【情報を提供していただく皆様へ】

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保で融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行



三重県消費者杉の会 会長 早川幸世さん（鈴鹿市在住）

プロフィール

平成17年杉の会に入会、他に三重県消費者団体連絡協議会理事、食育インストラクター、すずか生涯学習インストラクターの会所属



若い頃は、子育てをしながら病院の治療食や企業給食の献立をたてる仕事をしていました。子育てがひと段落して、東京や大阪まで出かけて学び直していた頃、平成17年に三重県主催の「くらしの講座」に出会いました。この講座では消費生活を送る上での身近な法律や問題等について学び、受講後その修了生で結成された「三重県消費者杉の会」に入会しました。この会は昭和49年に消費生活の安定、向上のための学習、積極的な消費者活動への取り組みを目的に設立されました。今はネットやテレビでも情報があふれていますが、このような会に入っていれば情報が正確かどうかを判断する力を身につけられて、自分なりに勉強ができるのではないかと思います。

私が入会する以前は、日常生活の中で扱う日用品への疑問・・・例えば食品、洗剤、紙おむつ、ラップ、毛染め剤等について、多岐に渡る自主的な勉強会をしていたそうですが、現在は会員が高齢のため、講演会、工場見学会、料理講習会等、参加型の活動が多くなっています。

5月は消費者月間で、毎年テーマを定めて全国的にキャンペーンが展開されます。私たちの会は、一昨年は「老後の生活」、昨年は「環境問題」、今年は「振り込め詐欺」について津リージョンプラザにてパネル展示をしました。

会員が高齢化しているのでこれからは若い方にも入会してもらって、賢い消費者をつくる活動を続けてもらいたいと思います。

NPO・ボランティア 私の一冊

みえ県民交流センターの図書・資料コーナー等から、スタッフがおすすめるNPOやボランティアに関するさまざまな書籍類をご紹介します。



こうだったのか NPOの広報
社会福祉法人 大阪ボランティア協会
NHK 記者 武永 勉
2010年3月1日 初版発行

自分の想いを相手に伝えようと思っても、熱意が空回りして言葉だけが多くなり、肝心なことが伝わらない...日常生活でこんな経験はありませんか？

NPOの広報は「自分たちの活動と想いを伝えたい」という熱意に「専門性」がミックスした複雑なもの。それゆえに、分かりやすく伝えようと思っても、つい熱意と専門性を優先してしまい、結果的に分かりづらい内容になってしまうことがあります。

この本では、そんなNPOの広報に関する「モヤモヤ」を「スッキリ」と解消するための、伝わりやすい広報のコツが数多く紹介されています。特に、実践ソールの「広報プレゼンシート」は優れたもので、自分たちが伝えたいことを順序に沿って当てはめていくだけで、自然に無理なく広報のポイントを理解することができます。

広報力の向上は、チラシ作りや団体紹介だけでなく、助成金等の申請にも役立ちます。NPOの皆さまに、ぜひ一度お読みいただきたいオススメの一冊です。【竹内】

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】〈津市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市市民活動センター/四日市大学 〈亀山市〉亀山市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市市民活動センター 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇學館大学 〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザイン 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関（地域防災総合事務所〔桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀〕地域活性化局〔南勢志摩、紀北、紀南〕/三重県米町庁舎（情報公開窓口）/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市役場/各市町中央公民館など

認証した特定非営利活動法人

(2013年7月10日～2013年8月9日認証分)

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

①特定非営利活動法人
いと健
②津市久居一色町 223 番地 40
③保健
④ 2013 年 7 月 11 日
⑤理事長 糸川 清通

①特定非営利活動法人
地域サポート布引
②津市白山町中ノ村 148 番地
③保健、まちづくり、農山
漁村・中山間地域、学術、
環境、災害、子ども
④ 2013 年 8 月 5 日
⑤理事長 中尾 憲司



①特定非営利活動法人
マザーズライフサポーター
②鈴鹿市西条 2 丁目 27 番地 1 号
③保健、社会教育、まちづ
くり、男女、子ども、経
済活動、その他
④ 2013 年 8 月 7 日
⑤理事長 須小 浩美

①特定非営利活動法人
三重スポーツサポート
アカデミー
②松阪市内五曲町 82 番地
③保健、社会教育、学術、
環境、災害、国際、男女、
子ども、経済活動、職業
能力、その他、地域防災
活動、障がい者の自立と
共生社会、多文化共生社会
④ 2013 年 8 月 7 日
⑤理事長 前川 雄一郎

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。